

高感度型示差走査熱量計

1. 装置の概要

高感度型示差走査熱量計は、試料と基準物質の温度を一定プログラムに従って変化させながら、両物質に対する熱流の差を温度の関数として測定（Differential Scanning Calorimetry）する装置です。

熱流の差を計測することで、融点やガラス転移などの熱分析ができます。

オートサンプラ AS-3DX を装備してあるので、最大 50 個までのサンプルの自動搬送し測定を行うことが可能です。

2. メーカー名・装置名称

株式会社日立ハイテクサイエンス
DSC7000X



3. 用途

高分子、金属、セラミックスなどの融解、結晶化、ガラス転移、硬化反応、酸化安定性などの熱分析

* 分解ガスや腐食性ガスを発生させる試料を測定されたい場合は事前にご相談ください

4. 仕様・構成

測定方式： 熱流束型

試料容器： アルミニウム簡易密封容器 7.5 μ l 直径 6.8 mm 高さ 2.6 mm

**電動サンプルシーラーESS-100 でサンプル容器を密封します

***他の容器を使用する場合は、事前に確認をお願いいたします。

測定温度範囲： 全自動ガス冷却ユニット使用 $-150 \sim 725^{\circ}\text{C}$

LN₂ タンク ND-050 50L 容

プログラム速度： 0.01 $\sim 100^{\circ}\text{C}/\text{min}$

DSC 測定範囲： $\pm 100 \text{ mW}$

ソフトウェア： TA7000 Muse 標準解析 Ver.9.5